



話題がいっぱい!
なかゆこい



9月29日 秋の夕べにクラシックの調べ

浦添市てだこホールで日露交歓コンサート2013沖縄公演が行われました。906人が来場し、一流の演奏者の奏でるクラシック音楽を堪能しました。このコンサートは、地方都市へのクラシック音楽の普及を目的としています。本格的なクラシックのほか、アンコールでは沖縄の音楽4曲が演奏され、公演終了後、観客席からはいつまでも拍手が響き渡りました。



9月20日 交通事故のない社会作りを!

交通事故防止を目的に「秋の全国交通安全運動出発式」が市役所玄関横広場で行われ、関係機関、浦添工業高校の生徒ら180人が参加しました。浦添工業高校1年の安次嶺セーラさんは交通安全宣言を行い「自分は事故を起こさないから大丈夫」という考えではいけないと交通事故防止を啓発しました。参加者には交通安全についてを考える良いきっかけとなりました。



9月28日 おいしいちゃん・おばあちゃん長生きしてね!
小規模多機能型居宅介護事業所 合同敬老会

9月は市内各地で敬老会が開催されました。浦添市中央公民館では、市内の小規模多機能型居宅介護事業所5か所による初めての合同敬老会が開催されました。それぞれの事業所から計約60人の介護事業所利用者が集い、互いの長寿を祝いました。合同敬老会では、トーカチ(88歳)7人が紹介されたほか、神森小学校の学童クラブによるけん玉をしながらのダンス、施設職員によるベリーダンスなど様々な余興で会場を湧かせました。最後には、カチャーシーで会場が一体となり幕を閉じました。



10月15日 戦没者の御霊の冥福を祈る

「第67回浦添市戦没者追悼式」が浦添城跡内にある「浦和の塔」で行われ、100人以上の参列者が戦争の犠牲となった御霊の冥福と世界の恒久平和を祈りました。参列した沖縄県遺族連合会照屋苗子会長は「悲惨な戦争は二度と起こしてはいけません。今日の平和と繁栄は、ご尊霊の上に築かれていることを忘れてはいけません」と、平和へのメッセージを読み上げました。



10月11日 地域に根ざした人権擁護活動

浦添市人権擁護委員委嘱状伝達式が行われ、新任・再任された委員に法務大臣からの委嘱状が手渡されました。本市では12人の委員が、啓発活動、人権教室、人権相談など人権擁護のための活動を幅広く行っています。また、約6年間委員として活躍された与儀啓子氏への感謝状贈呈式も行われました。与儀氏は「たくさんの出会いが学びになりました。これからの仕事に役立てていきます」と挨拶しました。



9月27日 世界中の1万人から、ありがとう

昭和57年に受入を開始してからこの秋までに沖縄で学んだJICA海外技術研修員が累計1万人に達しました。1万人目となる研修員が参加するコースのメンバーが、市長を表敬し、沖縄滞在の感想とこれからの抱負を語りました。また、小幡JICA沖縄国際センター所長から、これまでの研修生や関わった市民からのメッセージを11月9日・10日に開催される国際協力・交流フェスティバルで展示しますと市民への来場案内がありました。



10月9日 消防団、日ごろの訓練の成果を披露!

10月9日、沖縄県消防学校にて、第40回沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会が実施され、浦添市消防団が出場しました。消防団は一般市民で構成され、本業をもちながらも定期的に訓練を重ね、災害警戒時や災害発生時に出勤します。消火の際に使用するポンプ車の操作や実際の災害を想定した消火など3種類の部で、日頃の訓練の成果を披露しました。

